

日本は良い国、頑張れ 訪日前に李登輝前総統

【台北23日共同】台湾の李登輝前総統(84)は23日、今月末からの訪日を前に一部日本メディアのインタビューに応じ、日本での初の講演で「(終戦前に)わたしが受けた日本の教育や文化について話し、日本は良い国だ、頑張れと伝えたい」と抱負を語った。

李氏は5月30日から6月9日まで訪日し、東京都内などで講演、松尾芭蕉の「奥の細道」ゆかりの宮城、岩手、秋田の各県などを訪問する。

親日派の李氏は訪問の目的について「『奥の細道』を見たいとずっと思っていた。日本の多くの人がわたしを歓迎してくれてもいる」と述べた。

今後のアジア情勢については「米国はイラクから足抜けできず、アジアでは中国と日本の主導権争いが激しくなり、第2次世界大戦前に戻る」と予測。「台湾はこの変化に対応しなければならぬが、内部でけんかばかりだ」と台湾の与野党間の争いを批判した。

2007年5月23日付・熊本日日新聞

<http://kumanichi.com/news/kyodo/index.cfm?id=20070523000504&cid=international>